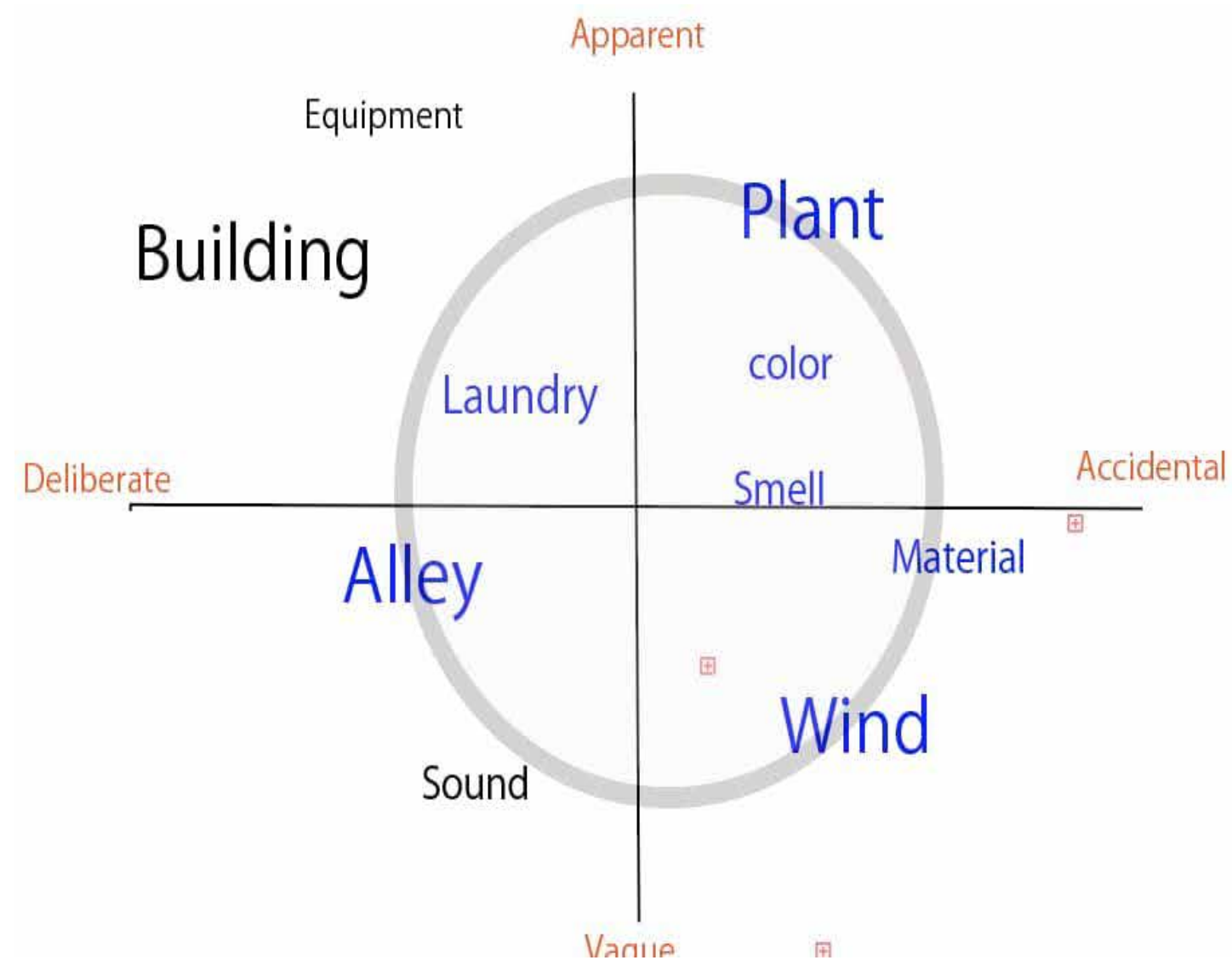
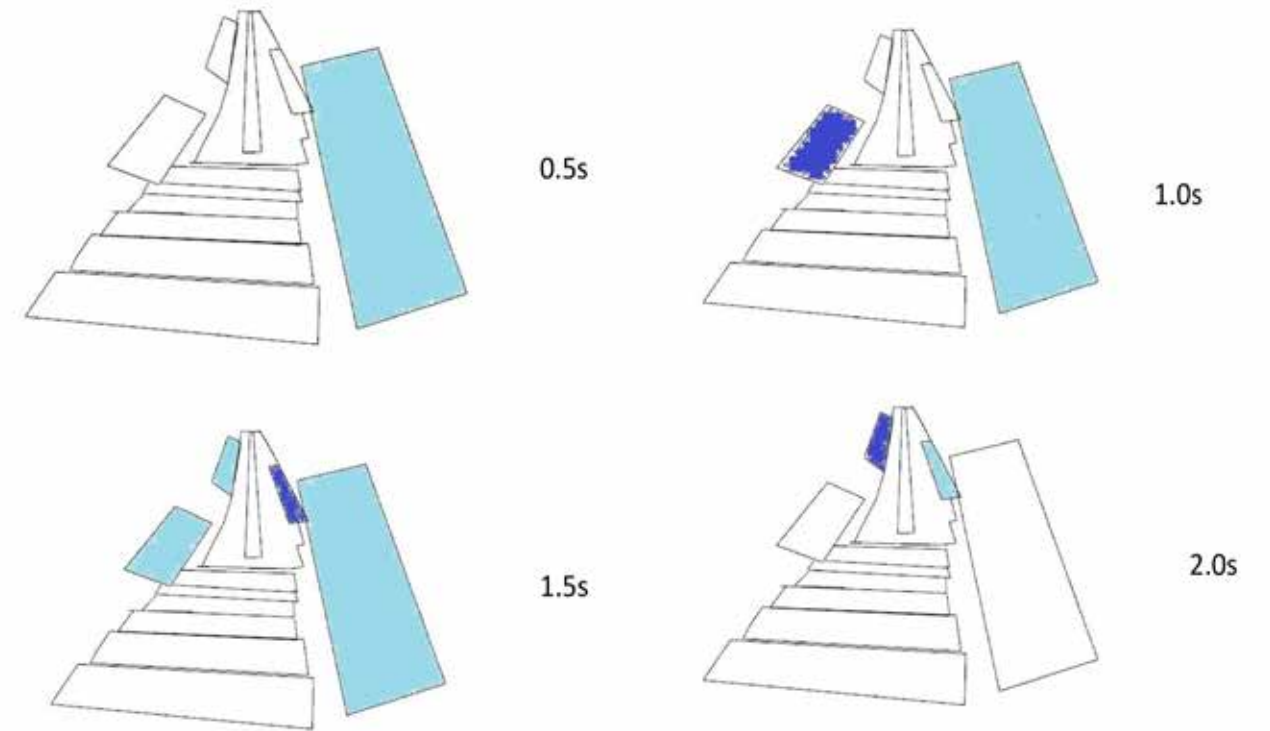


風の働きを感じやすい路地

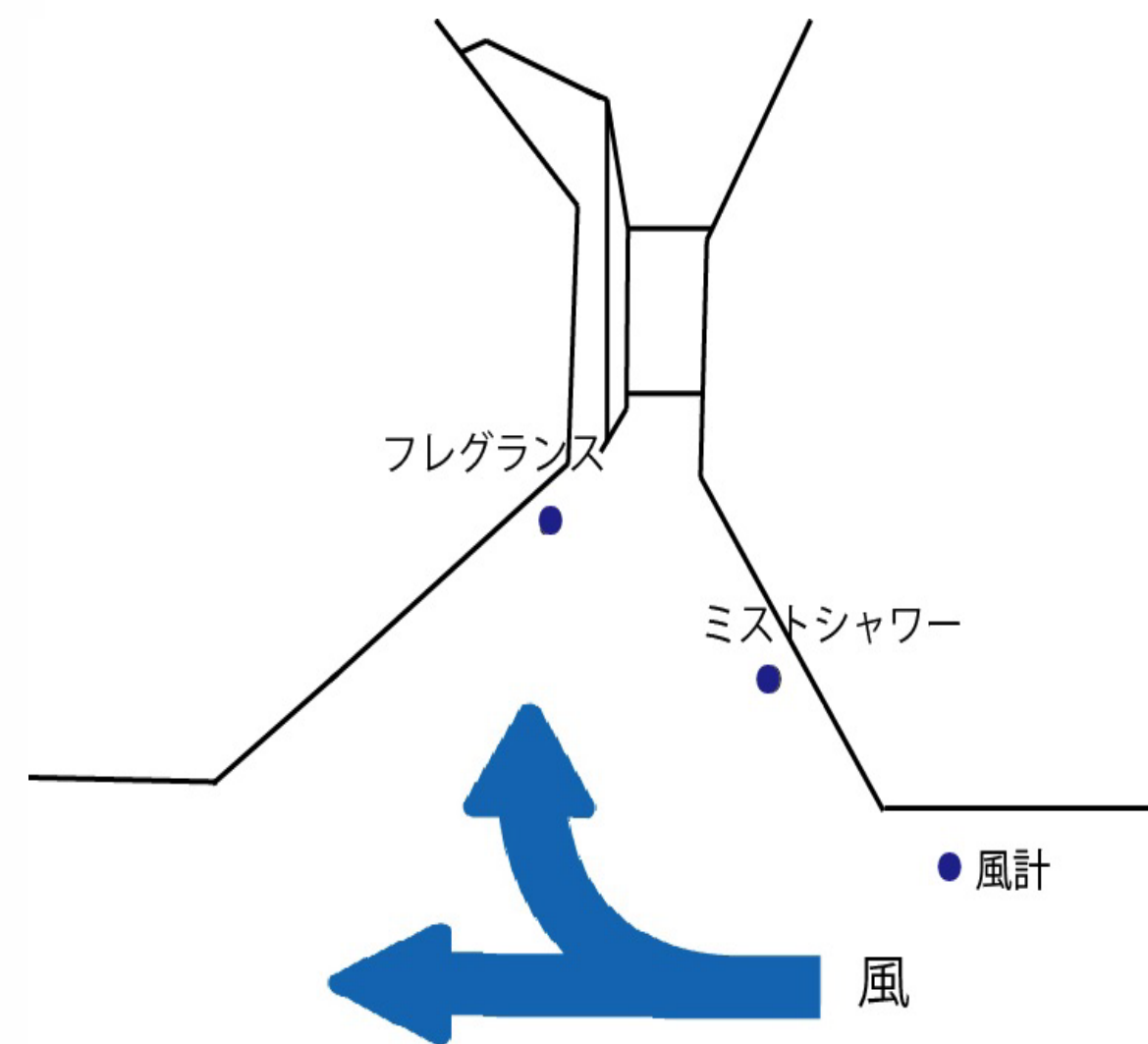
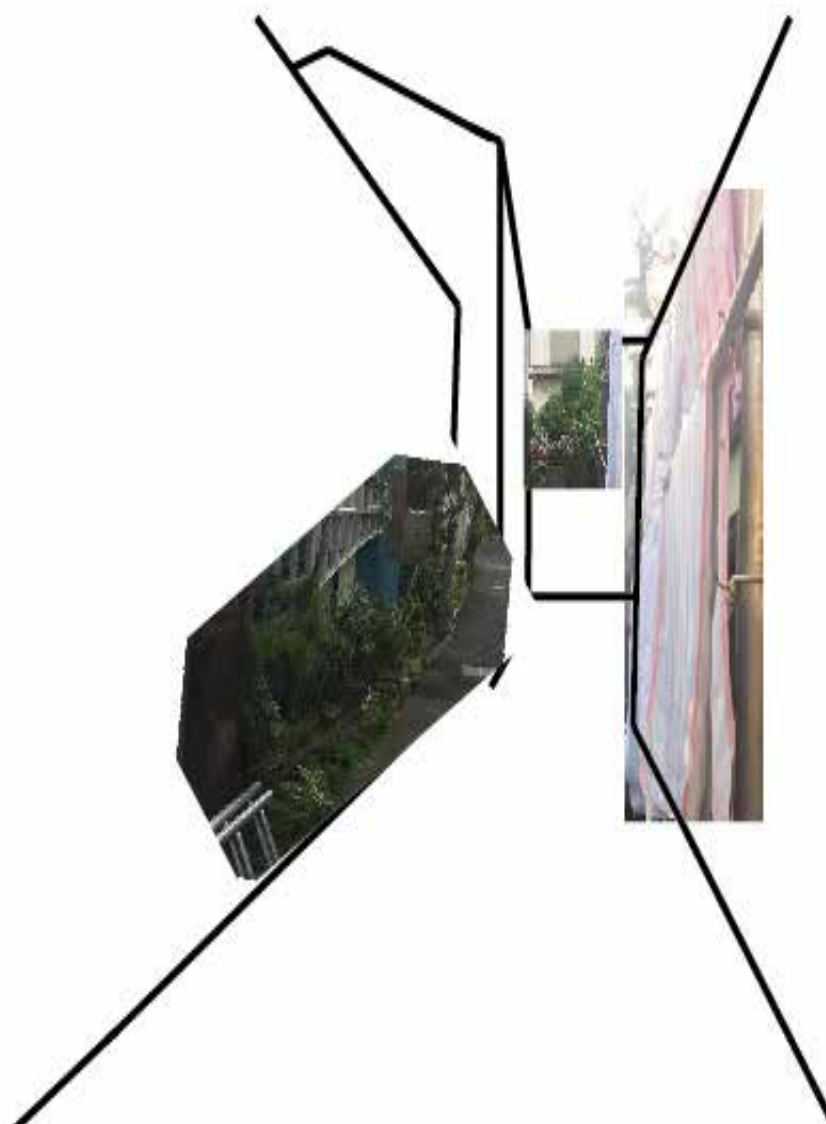
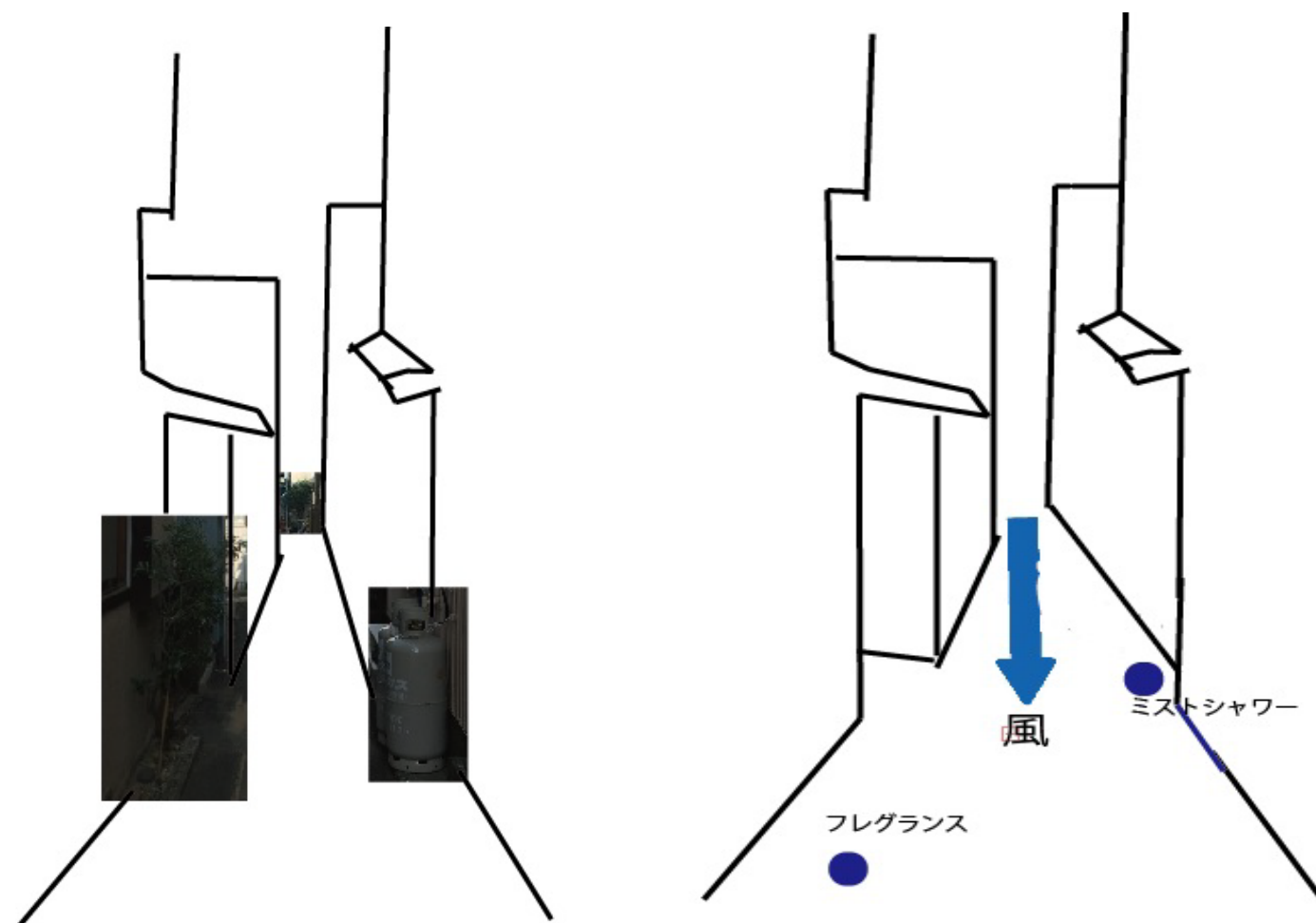


2m/sの風が吹き抜けていくときのかぜが与える段階的な影響



風に導かれる街

風速計が一定以上の風を計測したとき
一定の時間間隔をおいてミストシャワー
とフレグランスがそれぞれ順に放出され
風が吹き込んでいることを感じさせる





● 風の強い所

香り→ミスト→音と風に近づいていくにつれて
実体的な感覚物となることで風を実体として
感じられるようになる

下記のように路地では風によって多様な要素が結びつくことで
多様な気づきにくい要素がつながりをもって感じられるように
なる

風の弱い路地から風の強い通りへとむかうにつれ下の矢印と逆向きに
風を感じるようにする。つまり風をあいまいな存在なものから実体的
なものへと感じるように香りミスト音とだんだんと変化していくよう
にする

そのことで歩行者が風に導かれて路地から通り東海堂へと歩いていく
ことで風が作る多様な景観を楽しむことができるのではと考えた

